



第19回キッズデザイン賞受賞

長い冬も明るく快適に過ごせる、雄大な自然を取り込んだ園舎 大谷むつみ認定こども園

株式会社ジャクエツ（本社：福井県敦賀市／代表取締役社長：徳本達郎）が設計を行った「学校法人 広島大谷学園 大谷むつみ認定こども園」が特定非営利活動法人キッズデザイン協議会主催(後援：経済産業省・内閣府・消費者庁・こども家庭庁)の「第19回キッズデザイン賞」を受賞しました。

大谷むつみ認定こども園は、北海道北広島市にある移転新築した認定こども園。積雪の多い地域性に配慮しつつ、北海道ならではの風土を園舎に取り込み、地域の魅力を感じられる空間としました。子ども、先生、保護者それぞれの居場所を園内に点在させることで、空間を共有しながらお互いに関わりが生まれる場をつくりました。



▲遊戯室の窓には鳥の描かれたロールスクリーンが取り付けられ、まち並みを彩る。

【課題の着眼点】

- ①積雪地の園舎は窓が小さく外部に閉じた建物が多く、自然環境を十分に感じられない。
- ②既存園舎は幼児・乳児・先生・保護者が分断されており、関わりが生まれにくい。
- ③子どもが安心して過ごし、自然や人と関わりながら社会性を育む環境が不足している。



▲白樺並木の景色がつづく廊下からは、大きな窓から暖かな日差しが差し込む。

【課題へのアプローチ】

- ・白樺並木や北海道の動物など風土を感じられる園舎を計画。
- ・共用部分に「足を止めたくなる居場所」を点在させ、居心地の良い空間を創出。
- ・絵本コーナーやひな壇ベンチを設け、子どもや大人が自然に集い交流できる環境を整備。



▲えほんコーナー。テキスタイルデザイナーの氷室友里氏とのコラボレーションによるインテリア。

写真：矢原亮

【実績・ユーザーの評価・エビデンス】

これまでお迎えにくる保護者たちは、すぐに帰っていくことが多かったが、えほんコーナーに立ち寄り、親子の時間が増えたと喜ばれました。また、2階の廊下を通る度に子どもたちは立ち止まり、外の景色を眺めていたり、子ども同士や先生との会話を楽しんだりコミュニケーションが生まれ、子どもたちにとって新しい居場所ができました。

【株式会社ジャクエツ】

1916年創業。「未来は、あそびの中に。」をスローガンに掲げ、企画・コンサルティングから設計、施工、運営管理まで、地域社会や施設の課題解決に向けたサービスをワンストップで提供する。近年は包括連携協定の締結やPark-PFI事業への参入など、あそびの視点を活かしたまちづくりに取り組む。質の高いあそびの環境をデザインすることで、子どもたちの成長とともに大きく花開いていく「未来価値」を創造し続ける。

【お問い合わせ】

株式会社ジャクエツ

東京都港区高輪4丁目24-50

TEL:03-3442-2260／FAX:03-3442-2261

MAIL:press@jakuets.co.jp

広報担当者にご連絡ください。